

施政方針

令和6年度、市制施行70周年という記念すべき年に、本市のこれから目指すべき姿を示した「第8次上山市振興計画」がスタートしました。国内外の政治・経済情勢が大きく変わり、個人の価値観がさらに多様化する中、本市の魅力を向上し、市民満足度を高めるために必要な政策、「教育」、「健康」、「まちづくり」の3点を重点的に取り組んでおります。教育については、県内初となる「学びの多様化学校（上山きらり学園）」の開校準備や、子どもたちが英語に慣れ親しむ環境づくりなどに取り組み、健康については、健康ポイント事業や、40歳がん検診費用の助成等を実施。まちづくりについては、駅東西エリアへ人流を誘導し回遊性を高めるための取組を進めるとともに、かみのやま温泉インター産業団地の予約分譲受付を開始いたしました。

第8次上山市振興計画に掲げる将来都市像は、「つながりつなげる いろどりのまちかみのやま」です。豊富な地域資源を活かし、まちづくりを「自分ゴト」として捉え、市民総ての世代が「チームかみのやま」となり、少しずつ変化を起こして新たな価値を創造し、その価値の積み重ねがまちの魅力につながることを様々な場面で申し上げてまいりました。これまで開催されてきた市民主体の様々なイベントや活動に加え、令和6年度は、

- ・下大湯の開湯400年記念にちなんで、多くの方に共同浴場をより身近に感じてもらうための400時間無料開放
- ・山形ワインバルの開催に合わせた「ふつかまちPLAZA」や「(仮称)チャレンジショップ広場」でのイベント開催
- ・上山明新館高等学校食料生産科と市内事業者等のコラボレーションによる「フルーツフラワープリン」の開発
- ・かみのやま若者つながりナイト実行委員会による「かみのやま地元修学旅行」の実施や、市内若者による情報発信番組「しゃべらナイト」の開設

など、上山市を元気にしたいという情熱を持った人々によって地域に存在する魅力や資源が結び付けられ、新しいワクワクとなって発信されるという潮流が市内で着実に生まれてきております。

令和7年度は、これまで本市が歩んできた歴史を継承し、更なる発展を目指して、新たな変化が継続して生まれていく風土を醸成したいと考えております。第8次上山市振興計画では、将来都市像の実現を目指すために行政が戦略的かつ優先的に取り組む事業群として、

- ・人口の維持につなげるプロジェクト
- ・持続可能な都市構造につなげるプロジェクト

・地域資源を活かし地域の好循環につなげるプロジェクト

の3つをリーディングプロジェクトに位置付けております。令和7年度からスタートする「第3期上山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、このリーディングプロジェクトを力強く推進し、将来の人口指標を達成するための具体的な取組を示しております。魅力的な働く場所、活力ある人々の交流があり、安心して子育てができ、充実した教育が受けられる「住み続けたくなるまちづくり」を市民の皆様、事業者の皆様と連携しながら進めてまいります。

それでは、令和7年度の主要施策について申し上げます。

はじめに、「人口の維持につなげるプロジェクト」について申し上げます。ライフステージに応じた出産・子育て支援として、多様なニーズ、親子を取り巻く環境の変化に対応すべく、総合子どもセンター「めんごりあ」の機能充実を図り、病児保育等のサービスや子ども家庭センターでの伴走型サポート等を継続いたします。加えて新たな取組として、魅力ある保育活動の創出を図るため、保育園などが特色を活かし実施する体験学習等の取組を支援いたします。

学びの環境の充実として、「上山きらり学園」を4月に開校いたします。子どもたちが誰ひとり取り残されず、地域の魅力や人とのつながりを大切にしながら、自己実現を図っていくことができる教育を進めてまいります。併せて、校舎内に市教育支援センターを移設し、一体的・継続的な教育支援・教育相談を行います。また、小学校2校への別室登校学習指導員の新規配置や市教委専属スクールカウンセラーの任用により、相談体制を全体的に強化いたします。本市教育の特色である英語教育においては、小中学校におけるALTや地域おこし協力隊による継続的なコミュニケーション機会の創出及び英語検定試験支援に加え、民間を含めた保育所での英語体験を実施いたします。さらに、全国で2つの市のみ参加している経済協力開発機構（OECD）が進めている、生徒の学習指導等に係る国際大規模AIモデルの開発プロジェクトに新たに参画し、AIで分析されたデータを用いることで、より一層の一人ひとりのニーズに応じた学習指導を目指します。併せて県内初となるフルクラウドの教育DX環境を整備いたします。これら学校全体の働き方改革に取り組むことで、教員が児童生徒に向き合う時間を増やし、探究的・協働的な学び等の充実につなげてまいります。

健康寿命の延伸につなげる健康づくりの推進として、ライフスタイルの変化や地域コミュニティの希薄化などに伴い心身の健康リスクが多様化、増加している現状を踏まえ、地域全体の支えあいの輪を広げ、市民が生涯を通じて健康的な生活を自然に送ることができる環境づくりに長期的な視点で取り組むとともに、安心できる地域医療体制を維持してまいります。市民の健康を支える主軸であり楽しみながら健康づくりに取り組む「かみのやま健康ポイント事業」では、参加者を増やし事業の拡大を図ります。また、心身の健康な状態を維持しながら、病気や介護予防を図るため、転倒予防・認知症予防実践講座、すこやか運動教室の開催や各種がん検診への助成を継続いたします。さらに、特定健康診査に併せた推定食塩摂取量検査及び研究データに基づく糖尿病未病対策の推進、

上山市公式LINEを利用した健康情報の定期的な発信に新たに取り組み、健康への関心を高め、健康的な行動を促してまいります。

次に、「持続可能な都市構造につなげるプロジェクト」について申し上げます。駅周辺の低未利用地の利活用や空き家・空き店舗の再生等による魅力的な都市空間の形成を図り、地域の賑わいにつなげるため、官民連携によるかみのやま温泉駅周辺エリア整備や中心市街地の商業機能強化・集積等を推進いたします。駅東エリアでは「(仮称) 駅東パークタウン」の用地買収や道路・公園工事、駅東駐輪場の改修工事に着手します。併せて、公共空間の運営に携わる担い手を育成する社会実験及び子育ても仕事も無理なく両立できる「上山ならではの新しいライフスタイルづくり」に向けた「ナリワイづくり起業講座」の開催を継続し、日常的な賑わいを創出する素地を整えてまいります。駅西エリアでは、上山城を中心とした古き良き歴史と風情あるまち並みを感じられる景観づくりの取組への支援を継続し、景観の魅力を見出す機会を創出します。さらに、安全かつ円滑な交通の確保や良好な景観の形成の観点から、無電柱化推進計画を策定いたします。

中心市街地では、本市の魅力創出及び市内消費活動の拠点としての役割を将来にわたり担っていくことができる環境づくりを進めるため、空き家・空き店舗を活用した新規出店支援や、「(仮称) チャレンジショップ広場」の運営、商業祭等の開催支援を継続し、事業者と地域住民等との交流を促してまいります。また、魅力ある個店などを未来に引き継いでいくため、支援機関・金融機関と連携した事業承継マッチング支援に加え、新たに委託事業者による事業承継完了までのコーディネート体制を構築いたします。

最後に、「地域資源を活かし地域の好循環につなげるプロジェクト」について申し上げます。本市を「訪れたくなるまち」にしていくには、「自分たちのまちはいいところだ」という市民の意識（シビックプライド）醸成が不可欠です。日常生活の中にある「当たり前」が貴重な地域資源であることに気づき、これらを生かし、組み合わせ、地域の産業振興につなげながら本市の魅力として発信し、市民と上山市に縁のある方々との連携構築を進めてまいります。

産業分野ごとに地域資源をさらに磨き上げることも重要です。農業分野では、高品質な果樹産地の維持・発展に向け、気候変動を見据えた安定的な生産基盤づくりに向けた園芸施設整備、新植・改植のほか、販路拡大や農産加工品開発の取組への支援等により収益性の向上を目指します。商工業分野では、新規事業への参入や既存事業の拡大、省エネ等に資する設備投資及び人材育成への支援を継続いたします。観光業分野では、本格化するインバウンド需要の積極獲得に向けた取組への支援を強化し、地域DMOである一般社団法人上山市観光物産協会を中心とした観光関係団体等と一体となって、「稼げる観光地域」を目指してまいります。併せて、磨き上げられた地域資源、魅力を市民、市内事業者、行政及び全国で本市を応援して下さる皆様と一丸となって発信していくため、本市が運用するシティプロモーションWEBサイトを多言語対応に改修し、外国

人に向けた広報・プロモーション活動を拡大してまいります。また、市民視点で市内の情報を発信する「まち部」の活動を積極的に支援し、情報発信を促すことで、本市への興味・関心を喚起し共感を持つ人を市内外に増やすとともに、「かみのやまファンクラブ」会員をはじめとした本市と縁を持つ皆様との交流機会を増やし、持続的に本市を応援いただける関係人口の拡大につなげてまいります。ふるさと納税においては、本市ならではの魅力ある返礼品を提供するとともに、事業者と連携し新たな返礼品の開発などに取り組んでまいります。

国際交流事業として、海外友好都市ドイツ・ドナウエッシンゲン市との友好都市盟約締結 30 周年を記念して 15 年ぶりに市民訪問団を派遣するとともに、上山・ドナウエッシンゲン日独友好協会が実施する「友好都市盟約締結 30 周年記念事業」を支援いたします。

今申し上げた施策の推進にあたっては、簡素で効率的な行政サービス提供の観点から、クラウドアプリや生成 AI 等のデジタルツールを積極的に活用するほか、住民記録、税関係等の自治体が担う基幹業務に位置づけられる行政サービスを司る業務システムについては、国が定めたシステム仕様への準拠及び国が整備するガバメントクラウドへのシステム基盤の移行を、法律が求める令和 7 年度末までの完了を目指し着実に進めてまいります。

以上、令和 7 年度の施政方針を申し述べました。

上山市が住み続けたいまちとして選ばれ続けていくために、子どもから大人まで、魅力あふれる上山市に住んでいることに誇りをもち、上山市の一員として自分ができることを考え行動する市民を増やし、つながりの輪を広げ、力を合わせて発信していくことが重要です。現在、市民や民間事業者の間で生まれているまちづくりの芽を見落とすことなく行政がサポートし、つないでいくことで市民と共につくる「協創のまちづくり」を実現してまいります。令和 7 年度も「やりましょう！」私たちにもできること 上山市の一員だから」を一人でも多くの市民にご理解いただけるよう様々な場面を通じてお話しをしてまいります。

市民の皆様と議員各位のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。